

令和3年度 事業計画

令和3年度次の事業を行う。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス 訪問入浴介護 介護予防訪問入浴介護	47名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
福寿園	養護老人ホーム 訪問介護サテライト事業(出張所)	50名
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	120名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45名
5事業所 本部(事務局)除く	21	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 人材育成・確保 | 4. 経営基盤の構築 |
| 2. 将来に向けての事業展開とサービス提供 | 5. 地域貢献計画 |
| 3. 施設・事業所の整備、管理計画 | 6. 計画に対する評価等 |

基本方針

中・長期計画Ⅲ期初年度は、これまで進めてきた取組みと法人の魅力を再確認し、積極的な発信と更なる追求を進める。

人材育成システムの構築に向けては、リーダーシップ機能の充実を推進し、職員の能力を十分に発揮できる体制づくりに取り組む。また、働き方改革を継続して進めながら就業促進の強化を図り、「働きやすい職場づくり」を追求する。

事業の特色づくりに向けては、魅力あるプログラムの構築化を図り、積極的な情報発信により、質の高いサービスの提供と利用者の満足感を追求していくとともに、実績と信頼のあるサービスを継続する。

リスクマネジメントの強化に向けては、事故防止対策委員会の機能充実と災害等の緊急時にも事業を継続できるよう事業継続計画の見直しを図る。

また、建物や設備の長寿命化を図り、施設維持管理を徹底する。

令和3年度重点計画(方針)項目

I 人材育成・確保

1) 人材育成システムの構築

① 育成プログラムの充実

ア 育成プログラムの継続課題の整理

イ 育成プログラムの実施

ウ 職場復帰等プログラムの実施

② リーダーシップ機能の充実

ア 経営的視点を持った職員の育成の継続

イ 次世代を担う職員の育成の実施

③ 目標管理・キャリアパスの充実

ア 目標管理とキャリアパスの充実

④ 評価制度の作成

ア 評価表に基づき実施、評価

イ 利用者アンケートの実施、評価

2) 職員研修体系の評価

① 職員基本研修体系の強化

ア 職員研修基本計画の評価

イ 新たな研修計画の検討・作成

ウ 実践研究発表会の充実

② 専門性の充実

ア 専門的資格取得比率の向上

イ 積極的な地域への職員派遣

3) 帰属意識の推進

① 帰属意識の推進

ア 帰属意識の推進

② 働きがいのある職場環境の推進

ア 業務改善の取組みの推進

イ 職場環境整備の実施

ウ 職場環境の実態把握と適正化

エ 健康づくりの推進・評価

③ 職員表彰の拡大

ア 対象者・内容の修正

4) 人材確保の推進

① 実習生・ボランティアの積極的な受入れ

ア ボランティア・実習生の受入れ効果と評価

イ ボランティア・実習生の受入れ継続

ウ 実習の質の向上(マニュアルの作成)

②広報活動の推進

ア 広報活動効果の検証・修正

イ 情報の発信の継続

③職員採用に向けた推進

ア 非正規職員の雇用の検討、実施

④障がい者雇用の促進

ア 法定雇用人数の雇用

イ 就労の為の環境の充実

⑤就業促進及び定着化

ア 職員の処遇改善に向けての周知・実施

Ⅱ 将来に向けての事業展開とサービス提供

1) 大田市福祉等整備計画に伴う事業展開の再検討

①介護予防・日常生活支援総合事業の推進、修正

ア 介護予防・日常生活支援総合事業の推進、修正

2) 高品質なサービス提供の推進

①在宅・保育事業の特色づくり、魅力あるプログラムの定着

ア 魅力あるプログラム構築と定着化

②施設事業の新たなサービス基盤の構築

ア 新たな事業に向けたサービス基盤の構築

③PRの推進による高品質なサービスの確立

ア 効果的な情報発信の推進と高品質なサービスの確立

④地域包括ケアシステムに向けた事業の推進

ア 地域包括ケアシステムの構築に向けた事業の推進

イ 介護予防サービスの見直しと評価、再検討

3) リスクマネジメントの強化

①マニュアル等の再点検、一部修正

ア サービス標準化の周知徹底

②事故防止対策委員会の機能充実

ア 事故防止対策委員会の機能充実

③事業継続計画の運用推進

ア 事業継続計画の見直しと一部修正

4) 新事業体系の確立

①福寿園の建替えに伴う新たな事業展開計画の実施

ア 具体的な施設整備計画の実施と修正

イ 在宅サービス事業展開計画の実施と修正

ウ 新たな事業運営に向けた職員配置計画に基づく整備実施と修正

Ⅲ施設・事業所の整備、管理計画

1) 建物の長期維持を目的とした管理

①大規模修繕の計画的な実施

ア Ⅱ期の見直しとⅢ期の大規模修繕計画の作成と実施

イ 建物維持管理計画の推進

②小規模修繕の実施

ア Ⅲ期の小規模修繕の実施

2) 大型備品の整備

①大型備品導入の検討、実施計画書の作成

ア Ⅱ期の見直しとⅢ期の大型備品購入計画の作成と実施

②適正な備品管理

ア 備品管理計画に基づく効率的な運用推進

Ⅳ経営基盤の構築

1) 目標の修正

①計画の修正、改善

ア Ⅱ期の課題分析

イ 大規模修繕・大型備品整備に係る試算

ウ 介護報酬等の加算取得に向けた取組み

エ 補助金の情報収集及び確保の研究

オ 物品等の管理計画修正及び実施

Ⅴ地域貢献計画

1) 法人・事業所での計画実施

①実行、評価、改善

ア Ⅱ期の課題分析

イ 地域貢献活動計画修正

ウ 地域貢献活動計画の実施

Ⅵ計画に対する評価等

1) 計画遂行状況確認

①中間評価の実施

ア 進捗状況の評価

イ 見直しに係る検討

1. 本部(事務局)

中・長期計画Ⅲ期初年度となる今年度は、職員が定着する「働きやすい職場づくり」の追求に向け、働き方改革を継続して進め、業務改善の推進と就業促進を強化し、法人の魅力を積極的に発信していく。

人材育成システムの構築に向けては、リーダーシップ機能の充実を推進し、更に中堅職員のスキルアップを図るとともに、実施状況を客観的に評価できる仕組みづくりを行う。

質の高いサービスの確立に向け、実績と信頼のあるサービスを継続し、各事業の特色を定着化させるとともに、積極的に情報発信を行い、経営基盤の構築に繋げていく。

リスクマネジメント強化に向けて、事故防止対策委員会の機能充実及び新型コロナウイルスをはじめ、感染症等予防対策の推進を図り、安心安全な事業を継続する。

福寿園の建替えは計画に沿って進めるとともに、事業展開の検討を行う。

建物や設備の長寿命化を図るため施設の維持管理の徹底と必要な備品整備については、中・長期計画及び社会福祉充実計画に沿って計画的に進める。

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議 第三者委員報告会	10	施設長会議 中間報告会 理事会 職員親睦運動会
5	施設長会議 監査会 理事会 評議員選任解任委員会	11	施設長会議 全事協中・四国ブロック会議
6	施設長会議 定時評議員会 理事会	12	施設長会議
7	施設長会議	1	施設長会議 内部経理監査
8	施設長会議	2	施設長会議
9	施設長会議	3	施設長会議 理事会 評議員会

研修計画

法人全体研修

月	研修名	月	研修名
4	新人職員研修	9	交通安全研修
5	リーダー職員研修 新人職員研修	11	メンタルヘルス研修会 (ストレスチェック実施者)
6	人権同和問題研修会	12	リフレッシュ研修
7	メンタルヘルス研修会(管理者向け)	3	実践研究発表会

法人役員等研修

研修名	研修名
経営セミナー	監事研修
指導監査、役員研修	苦情解決研修

事業所外研修

研修名	研修名
全事協中国、四国ブロック研修	リスクマネジメント研修
Web 研修(島根県老施協リモートによる専門研修) ・ 重度化対応研修(医療ニーズ、介護技術) ・ その他専門知識等研修	レディースリーダー研修
	サービスマナー研修
	権利擁護 個人情報保護等研修

法人内部研修

研修名
法人内部講師研修

事業所内研修

研修名	研修名
事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

サービス利用目標

施設サービス

事業所名	ケアハウスビラおおだ	養護老人ホーム福寿園
月平均入所者数	50 名	50 名

通所介護サービス

事業所名	ビラおおだデイ	ビラあさやま (一般型)	ビラあさやま (認知症型)	ビラたかやま
1 日平均利用人数	43 名	31.5 名	11.3 名	36.5 名

訪問サービス

事業所名	ビラおおだデイ (訪問入浴)	ビラおおだ ホームヘルパー	ビラおおだ居宅
月平均利用人数	58 件	介護 601 件、予防 11 件 障がい 43 件	介護 168 件

保育サービス

月平均園児数	135 名
--------	-------

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

中・長期計画Ⅲ期初年度計画を達成するため、働きやすい職場づくりを念頭に、職員個々がキャリアパスに沿い自分の果たすべき役割と責任を認識し、「安心安全で質の高いケアハウス」を目標とし、サービスの中心に「食」、「健康管理」、「地域貢献」を置き業務を遂行する。

「皆で意見を出し合い皆で助け合いながら行う」をモットーに多職種間協力で業務を行い電子化の導入等により業務の簡素化を更に追求し離職のない職場を継続する。

開所 10 周年を迎えるが、今までにとらわれず、コロナ禍で行事等工夫し良かったこと、今だから出来ること、これから求められるものの視点を持ちサービスを提供する。

日々の健康管理に医療・介護施設等と連携しながら支援力を高め重度化予防に努めると共に、リスクマネジメントも事故、感染症、災害、接遇など幅広く対策をとり入居者、身元保証人から安心と喜ばれるケアハウスを構築し満足度アップと入居者確保に繋げる。

地域から信頼される施設としてこれまで築いてきた地域との関係を礎として地域貢献計画を見直し、現状に見合った計画を作成し実施する。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	出岡地区自主防災会合同防災連絡会議 野外散策(花見) ガーデンランチ	10	秋の行楽遠足 秋の味覚三昧 折り紙交流(相愛との交流)
5	日中火災避難消火訓練 野外散策 ケアハウスピラおおだ開所 10 周年記念 祝賀会	11	川合町文化祭への参加 ケアハ ウス文化展 感染症予防勉強会 野外散策(紅葉見物、銀杏のライ トアップ) フルコース(地域交流) イルミネーション点灯式
6	ケアハウスピラおおだ合同通信発刊 野外散策 入居者懇談会 食中毒・疾病予防勉強会	12	忘年会 しめ縄交流(相愛との交流)
7	納涼祭(地域交流)	1	新年会 初詣(物部神社) 新春ゲーム大会 1.17 震災の日
8	夜間火災避難訓練及び合同防災連絡会 議(出岡地区自主防災会と合同) 夏祭り	2	節分祭参拝(物部神社)
9	9.1 防災の日 敬老会 川合町敬老会出席 敬老週間お出掛け	3	大田市福祉展への作品出展、見学 お茶会交流会(相愛との交流)
その他	名画シアター(年 2 回)、買物外出支援(月 1 回)、今日は何の日献立(適宜)、GOTO 味巡り(月 1 回)、ミニ運動会(年 1 回)、談話室お楽しみ会(各階年 2 回)、クラ ブ活動(書道、手芸、園芸、脳トレ)、法話会(月 1 回)、炭火焼き(適宜)、パン作 り(年 3 回)、餅つき(12 月)、そば打ち(12 月)、誕生祝い(月 1 回)、クッキン グお茶会(月 1 回)、オンライン電話(月～金、日)		

	(地域交流・貢献) ふれあい食堂(週3回) または、ふれあい食堂出前(月2回)、ふれあい食堂民生委員との連絡会議(年2回)、非常食づくり(年3回)、交通安全立哨運動(春)、川合高齢者通いの場(週1回)、出岡サロン(月1回)
--	---

3. 福寿園(養護老人ホーム)

安心安全な生活の場となるよう感染症予防の徹底、体調管理を行い、入園者一人ひとりの生活状況、身体状況に応じた支援を行っていくとともに、生活の中に楽しみを感じられるよう園内行事や園内活動、屋外活動、外出支援を充実させていく。

また、様々な疾患や生活歴のある入園者の対応ができる職員の育成やリーダーのスキルアップを高めると共に、職場環境の改善を行い、職員の定着化を図る。

食については、嗜好を取入れ楽しみのある食事の提供、食事制限のある方も楽しく食べられるお茶会を継続していく。

感染症の発生状況の確認と感染予防対策を行いながら、地域の方々や関係機関と意見調整し、地域交流活動、防災活動を行っていく。

福寿園建替えについては、事務局との協議を進めるとともに、建替えまでの間、建物、設備維持を徹底する。

大田市と待機者状況、入園者状況等の情報交換を密に行い、定員50名を維持する。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	花見お茶会 外出支援	10	福寿園祭、家族交流会 川合保育園、食育ボランティアとの角寿司作り
5	園芸活動 外出支援	11	川合町文化祭作品展示 福寿園川合町ふれあいの会
6	福寿園川合町ふれあいの会 土砂災害訓練 福ふく広報発行	12	感謝会(地域交流) 餅つき クリスマスお茶会 門松作り 正月飾り付け
7	外出支援 川合保育園との合同運動会	1	新年お茶会
8	川合保育園との夏祭り 園芸活動 防犯訓練	2	節分お茶会 福ふく広報発行
9	長寿を祝う会 川合町敬老会出席 夜間火災避難訓練(地域住民参加)	3	ひな祭りお茶会 火災避難消火訓練
その他	お楽しみクラブ(毎日) クッキング(随時) 農作業活動(随時) 野外散策(随時) 誕生会(月1回)、お茶会(月1回) 交通安全ストラップ作り、法話会(月1回)		

	回)、ルーテル講話(年4回)、
--	-----------------

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 362日(1月1日～1月3日まで休園)

サービス提供時間 7:00～19:30

保育の重点目標を今年度も「感性豊かな子ども」とし、乳幼児期から大田市の豊かな自然や地域の人々とふれあう体験を通して多様な価値観を育み、感性豊かな子どもを育成する。加えて大田市の学校教育で取り組んでいる「ふるさと教育」の要素を取り入れ、石見銀山や三瓶山の散策などを体験し、郷土を愛する心を育てる。この他にも体操教室や「和」をテーマにした保育活動(習字、折り紙など)を継続して行い、子どもの心と体を育てる。

食育では地元産の旬の食材を多く取り入れ、ピュッフェや野外給食などを行い、食べる楽しさを感じられ、身近な食材への興味を育てる給食を提供する。栄養三色運動を利用した献立表を作成し、保護者の食と体づくりへの関心を高める。

業務に対する質問や悩みが気軽に相談できるようエルダー制度を継続する。また業務の進捗状況などの情報を共有し、業務の分担や支援がしやすい雰囲気を作り、働きやすい職場環境にする。

昨年度より実施している「子どもの言語と絵本について」の研修を継続して行う。職員一人ひとりが乳幼児期の言語の獲得の重要性について理解し、保育の専門性を高める。

日頃の保育の様子やそのねらい等、園児と保育者が関わる様子を毎日HPに掲載し、他の園にはない魅力を積極的に地域へ発信することで安定的に園児が獲得できるようにする。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	入園・進級式 保護者会総会	10	園外保育 園児健康診断 箱寿司づくり(食育ボラとの交流) 折り紙教室(ケアハウスとの交流) ハロウィンパレード(地域交流)
5	親子遠足 交通安全教室 自然体験	11	作品展 四園交流(年長児) 自然体験 保護者参観・保護者研修会 炊き出し訓練
6	保護者参観・保護者研修会 個人懇談 虫歯予防集会	12	餅つき会(地域交流・外国人交流) クリスマス会 個人懇談(全クラス)

	園児歯科検診		しめ縄作り(ケアハウスとの交流)
7	七夕会(祖父母参観) 川遊び 夏祭り(地域交流・食育ボランティアとの交流) プール開き	1	親子茶会
8	プール納め 小学生との交流会	2	節分会 雪あそび 親子お楽しみ会 なかよし茶会
9	親子運動会 かまぼこ工場見学	3	お別れ会 なかよし遠足 新入園児・継続 児健康診断 ひなまつり茶会(ケアハウスとの交流) ひなまつり会 パン作り 卒園式
月例 行事	誕生会 身体測定 避難訓練 お茶のおけいこ 体操教室(年長児) 習字(年長児) クッキング保育(夏期を除く) すまいるくらぶ♪(地域交流)		
その他	法人内福祉施設との交流会 一日保育士体験(各クラス) 環境整備(春、秋) お弁当ごっこ 親子クッキング 離乳食教室 防犯訓練 芸術鑑賞 習字(年中児) 子どもの姿勢改善の運動 地産地消ビュッフェデリバリー給食		

通所介護サービス

5. ビラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 311日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

利用者が自立した生活を送るため、利用者個々の目的、思いを大切に生活機能の維持・向上に向けた目標を設定し支援を行う。

事業の特色として、大規模デイの特徴を活かし、ニーズに応じて可能な限り多く利用してもらい、利用者個々の満足感を得るため、小人数での複数のプログラムを充実させ、利用者個々との関りから「やりたいこと」を引き出し、実現させていく。

人材育成の推進については、主任のリーダーシップと中堅職員のスキルアップに向けて、事業所内外の研修及びOJT(日常業務を通じた職員教育)により、研鑽に努め、業務改善を図りながら事業を円滑に進め「働きやすい職場づくり」へ繋げていく。

リスクマネジメントの強化に向けて、事故防止に関する事だけでなく、苦情に繋がる気づきも強化しサービスの向上を図る。

施設設備の日常点検や備品管理を行い、環境の整備を徹底し安心安全なサービスに繋げる。

地域との連携を図るため、サロン等の活動へ参加しながら地域貢献の取組みを行っていく。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	花見会 屋外訓練(花見)	10	屋外訓練 火災避難消火訓練 感染症予防教室
5	火災避難消火訓練(ケアハウス合同) 屋外訓練 ビラおおだ通信発刊	11	家族交流会 屋外訓練(紅葉) 川合町文化祭出展

6	食中毒予防教室 屋外訓練家族交流会	12	忘年会 クリスマス会 脱水予防教室
7	七夕会 屋外訓練	1	新年会 初詣
8	納涼祭 そうめん流し	2	節分会
9	敬老会 保育園交流	3	ひな祭り会 福祉展出展
その他	ボランティア団体との交流 ビラおおだデイ通信（誕生月で個別） クッキング、喫茶、クラブ活動、抹茶の日、パン作り教室		

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日数 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

住み慣れた自宅、地域で家族と安心した生活が送れるように、利用者を知ることに重きを置き、居宅訪問チェックシート、興味関心チェックシートを活用と現在のアセスメントだけでなく、過去に遡りアセスメントを行うことで、利用者の生活習慣に焦点をあて支援を行う。

自宅での生活に結びつき、自らの持っている力を引き出せる目標の設定を利用者とともに行い、機能訓練指導員をはじめ、全職員が事業所のどの場面においてもリハビリテーションの一環である意識を持ち、支援実施する。

医療依存度の高いケースや重度者への対応、また利用者の幅広い世代の変化等、多様なニーズに即した研修を事業所内外で実施し、専門性の高いサービスの提供を行う。

地域との繋がりを大切にし、通いの場等へ出向き、情報収集、発信の場を通じて様々な意見を聞き、今後のサービスへ繋げる。

中・長期計画Ⅱ期計画の評価、課題を整理し、中・長期計画Ⅲ期計画の実施にあたり、リーダーが中心となりコミュニケーションを深めながら、職員一人ひとりが自主性を持って取り組めるようサポートを行いながら業務に取り組む。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	屋外訓練(花見) 交通安全教室	10	屋外訓練(紅葉) 波根保育園交流会 運動会 火災避難消火訓練 屋外食
5	屋外訓練(花見) 火災避難消火訓練 野外食 体力測定	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) 屋外訓練 体力測定 感染症予防教室 絵手紙教室
6	屋外訓練(日常生活動作訓練) 陶芸教室 家族介護教室	12	クリスマス会 そば道場 忘年会 フラワーアレンジメント(門松作り) 波根保育園交流会 餅つき
7	七夕 食中毒予防・熱中症予防教室	1	初詣 お茶会
8	地域・家族交流会 波根保育園交流会 夏祭り	2	節分 食育教室

9	敬老会 屋外訓練 食育教室 土砂災害避難訓練	3	ひなまつり会 屋外訓練
その他	喫茶、園芸活動、奉仕活動、クッキング、手芸、ボランティア受入れ等		

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

開所日数 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

「どんな暮らし」を「何を大切に」されてきたか等、その人らしさを知り、家族や他関係機関との情報共有から見えてくる利用者の思いを把握する。

定期的な認知機能評価、興味関心チェックシートを用いて、「かつて行っていたこと」「今でも出来ること」から役割を考え、出来る気持ち、利用者が「快」を感じることが出来る成功体験を個々のプログラムへ取り入れていく。

また薬を用いない認知症療法の実践や認知症ケアに必要な寄り添い、聴く、共感するを身につけ、ゆっくりとした流れや家庭的な雰囲気の中で利用者が自ら何かをしたいという気持ちを大切に、相手を受け入れ待つ姿勢を持ち、日々のケアを実践していく。

ボランティア、地域の方の受け入れや集う場所へ出向き、地域との繋がりを大切にし、情報収集、発信の場を通じて様々な意見を聞き、今後のサービスへ繋げる。

中・長期計画Ⅱ期計画の評価、課題を整理し、中・長期計画Ⅲ期計画実施にあたり、リーダーが中心となりコミュニケーションを深めながら、職員一人ひとりが自主性を持って取り組めるようサポートを行いながら業務に取り組む。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	屋外訓練(花見) 交通安全教室 認知機能検査	10	屋外訓練(紅葉) 波根保育園交流会 運動会 火災避難消火訓練 屋外食 認知機能検査
5	屋外訓練(花見) 野外食 火災避難消火訓練	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) 屋外訓練 感染症予防教室 絵手紙教室
6	屋外訓練(日常生活動作訓練) 陶芸教室 家族介護教室	12	クリスマス会 そば道場 忘年会 フラワーアレンジメント(門松作り) 波根保育園交流会 餅つき
7	野外食 七夕 食中毒予防・熱中症予防教室	1	初詣 お茶会
8	野外食 地域・家族交流会 波根保育園交流会 夏祭り	2	節分 食育教室

9	敬老会 屋外訓練 食育教室 土砂災害避難訓練	3	ひなまつり会 屋外訓練
その他	回想法、学習、音楽、園芸療法、アロマセラピー等 喫茶、奉仕活動、クッキング、手芸、ボランティア受入れ等		

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日数 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

利用者の住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、「在宅での暮らし」に視点を置き、自宅での活動において必要な移動動作等、利用者の生活に合わせた機能訓練、楽しみのある「食」の取り組みを継続し、利用者の暮らしの中で楽しみながら生きがいを持てる趣味活動、余暇活動等の提供を行う。また、介護相談等の助言や情報収集、情報発信を iPad を活用して、利用者の活動を撮影し、担当者会議等で日頃の活動を分かり易く PR を行い、地域に根ざした事業所づくりを行う。

リスクマネジメントについて職員間での気づきを大切にし、情報を共有することで随時マニュアルの点検、見直しを行い、事故のない事業所づくりに取り組む。建物、備品においても、定期的に点検を行い、施設維持管理を行う。災害等の緊急時に事業が継続できるよう事業継続計画の見直しを行う。

中・長期計画Ⅱ期で実施したことの課題等の取り組み成果を分析し、Ⅲ期の柱となっている、リーダー的人材のレベルアップの実施を重点に置き、一人ひとりが「どう考え、どう行動すべきか」を考え、次世代を担う職員の育成を行い、社会情勢等の変化に対応できるよう専門性の充実を進める。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	花見 屋外訓練	10	運動会 体力測定 水上保育園交流会 感染予防教室 屋外訓練
5	屋外訓練 ビラたかやま通信発刊	11	文化祭出品 見学 屋外訓練 火災避難消火訓練
6	火災避難消火訓練 脱水予防教室 屋外訓練 体力測定	12	忘年会 餅つき クリスマス会
7	七夕 屋外訓練 そうめん流し 家族交流会(夏祭り)	1	新年会 お茶会 屋外訓練 ビラたかやま通信発刊
8	水上保育園交流 屋外訓練	2	節分
9	敬老月間 お茶会 屋外訓練	3	ひな祭り 屋外訓練

土砂災害避難訓練		
----------	--	--

訪問サービス

8. ビラおおだデイサービスセンター

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

自宅での入浴が困難なターミナルや医療依存度が高い状態の重度の利用者に対して、安全な姿勢で、身体への負担も少なく入浴サービスが提供できるよう事業所内研修等を通じて、職員の知識と技術の向上に向けて取り組む。

3名の職員でサービスを行う特徴を活かし、怪我や病気の早期発見に繋げ、主治医、訪問看護、ケアマネジャーと密に連携するとともに、その日の利用者の状態に応じて清拭や部分浴などで適切に支援を行う。

通所介護事業所の事業を活かし、通所介護の利用が難しくなってきた利用者に対して、必要に応じて訪問入浴を勧め、利用者の入浴機会を確保していく。また、訪問入浴の理解を深めてもらうため、退院直後など一時的に自宅での入浴が困難な方に対してもサービス提供出来るなど、柔軟な対応が可能なことをケアマネジャーへ発信していき、新規利用者獲得や回数増を図り、稼働率の向上を目指す。

9. ビラおおだホームヘルプステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

在宅の高齢者及び障がい者、ケアハウス、福寿園の入所者に対し、住みなれた地域や施設で安心して暮らしを続けていくために、心身の状況や生活環境を把握し、各関係機関と情報の共有を行い、タイムリーな支援を行うことで自立した生活を送れる支援を行っていく。

人材育成として、サービス提供責任者を中心に定期的な事業所内研修、同行訪問での現場指導を充実させ、サービス提供に当たっての利用者に関する情報の伝達・報告を行い、求められる多様なニーズ（認知症、ターミナルケア、重度化対応等）に対して、安心安全と信頼を重視した、利用者の気持ちに寄り添う質の高いサービス提供に繋げていく。

気づきやヒヤリハットを挙げ、リスクマネジメントの意識をもって予防と発生時の適切な対応に取り組む。特に新型コロナウイルス等感染症対策にも、関係機関の情報を基に防止に取り組む。

居宅介護支援事業所等への情報発信・連携の強化を継続して行う。また、事業内容の紹介を含め、地域への情報発信を行い、包括的地域ケアに取り組む。自己評価と共に、利用者の

思いや要望に応じていくため、利用者満足度調査を実施し、サービス提供実践の振り返りと質の向上に取り組む。

10. ビラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

令和3年度介護報酬改定の概要を踏まえ、医療や介護との連携、地域との連携を図った質の高い相談援助業務を行い、利用者の尊厳を守り住み慣れた地域で安心して暮らしが続けられるよう支援する。

人材育成・確保についてキャリアパスに基づいた目標管理を行い、主任介護支援専門員の資格取得推進や、資格取得者は更に専門知識や技術を深め、指導力の向上を目指した研修や事例検討、実習生の受入等の取り組みを行う。まめネットやソフトウェアを有効に活用して効率化を図る等、業務の見直しや働きやすい環境づくりを継続して行い、育児休業取得者が家庭や仕事に対する不安なく職場復帰が果たせるよう職場復帰プログラムを実施する。

高品質なサービス提供の推進においては、情報共有やサービス提供にあたっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を週1回開催し、認知症や医療ニーズの高い中重度者等の支援困難ケースにも多角的な視点で支援策を検討する。これまで培ってきた人脈や経験を活かして医療福祉の各関係機関や事業所との連携を図りながら対応し、個々の状況に応じた質の高いケアマネジメントを行う。地域ケア会議では現場で直面している地域課題を提案し、地域包括ケアシステム内での役割を果たす。